

令和元年度事業報告書		事業所名	こども園	作成者	大山厚信	作成日	R2.3.31	
目標	本年テーマ	(計画) 全員で新こども園の内外共の整備・定着を図る						
		(評価) 外面的には9月移転し足りないところは整備しつつ、内面の目標を意識し研修が出来た						
基本処遇及び運営	■令和元年度処遇及び運営方針に対する評価							
	(計画) ① 保育の方向性の一致のため個人・全体の研修・教育の充実							
	② 1人1人の子どもが自己肯定感を感じ主体的に育つために子どもへの関わり方の見直し							
	③ 園内でのテーマ別会議、全体研修の開催(新園での運営のシュミレーション等)							
	④ 体育教育の強化(運動あそび)							
	⑤ 支援児サポートの強化 ⑥ 保護者支援の強化							
	(評価)							
	9月に新園舎に移転し、環境が大きく変わった。一致協力し新園舎での保育が出来るよう皆良くがんばり、環境整備と、運営の円滑化に勤めることが出来た。子ども達も1月ほどで落ち着き運動会、発表会も手探りながらも何とかできた。そんな中ではあったが、「運動あそび」をテーマに園内研に取り組み多くの課題も確認し、園全体での研修会を開くことが出来た。少し方向性の一致が進んでいる感がある。							
	■職員研修計画と実績							
	研修・セミナー	研修名称		参加実績		研修名称		参加実績
県社協主催各研修		5人参加		法人研修4回		計10人参加しより広い学びが出来た		
市民保協・市保協主催研修		11人参加						
県保協研修会		今回は機会を逃し参加できなかった						
園内保育研修(年1～2回)		8人参加						
ピアノ実技研修(年2回)		苦手な先生もいたが全員合格						
キャリアアップ研修会		13人参加						
園内特別研修		2月1日開催20人参加						
(効果) キャリアアップは各自のスキルアップのためではあるが、段々と保育に生かされてきていると感じた。内部研修もテーマを決めての研修なので、工夫が見られ、課題が出てきたりしている。今後に繋がる内部研修となっている。外部研修は事前の問題意識の啓発や、終了後園内にどう生かすか等の工夫が必要と思われる。								
■会議・委員会計画実績・効果								
会議・委員会・内部研修	会議委員会名		実績・効果		会議委員会名		実績・効果	
	職員会議(月2回)		毎回現場の課題をタイムリーに話し合う。		故防止・安全衛生委員会(月1回)		正職職員(4名)	
	給食会議(月2回)		〃		広報(月1回)		サンサンキッズ年2回、移転の為特別号、新園舎のため新しい入園パンフを作った	
	カリキュラム会議(月1回)		三上職員で各課題を共有できた		地域貢献委員会(月1回)		ハロウィンなど企画	
	英語会議(月1回)		ジャッキー・全クラス主任		人権・虐待対策委員会(月1回)		正職職員(5名)	
	主任・副主任会議		園長・副園長・主任・副主任移転して会議の機会が増えた。		特別リーダー会議		未	

防災・災害	■災害訓練計画・実績			
	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	毎月1回年12回		火災・台風・不審者・地震・消火	移転後は新しい避難訓練で訓練
	11月		避難指導・消火器の使用法・通報	特養との合同で開催、毎年一回は必要かと思う。

行事・イベント	■月別行事・内部研修報告	
	月度	
4月	入園式・家庭訪問・お花見・誕生会(各月共通)	
	園内研修無し	
5月	春の遠足・地域清掃・ごみ拾い(3上)	
	園内研修無し	
6月	教室参観・プール開き・テーブルマナー・園内研修	
	園内研:0歳児クラス、1歳児クラス、3歳児クラス	
7月	七夕会・親子ふれあい参観日・祇園祭り参加・人形劇観劇(4・5歳)・お泊り保育(5歳のみ)	
	ピアノ研修、	
8月	プール参観	
	移転準備の為園内研無し	
9月	お月見会園内研修:なし	
	移転の為園内研無し	
10月	運動会・秋の親子遠足・ハロウィン	
	園内研無し	
11月	牧場見学・焼芋パーティー	
	発表会準備の為園内研無し	
12月	生活発表会・お餅つき・クリスマス会	
	園内研:4歳児クラス、2歳児クラス	
1月	とんど焼き・マラソン大会	
	園内研:2才児クラス、5歳児クラス、4歳児クラス	
2月	豆まき・雪遊び(5歳児)・お店屋さんごっこ、とらまる人形劇団観劇	
	全員参加の園内研修、個別園内研:1歳児。	
3月	ひな祭り・お別れ遠足・お別れ会・卒園式(コロナのためお別れ遠足無し。卒園式も簡略化)	
	ピアノ研修	

(総評)
 今年度は新園舎への移転が有り変則的になったが、かえって新しい園舎で新しい方向性を共有しようと主体的に頑張ってきた。運動あそびに特化した園内研修ではそれぞれの年齢に応じ工夫した研修となった。その結果を更に来年度で整理し、より体系的に全体で学び研修の成果を上げてゆきたい。